地球のため。環境のため。未来のため。
口にするのも言葉にするのもとても簡単。
大事だということはもちろんわかってる。
でも、行動にうつすのは難しい。

どうしてもこう捉えてしまいがちな、
環境についてのアクション。
じつは、わたしたちの小さな一歩の積み重ねが、
大きな変化をつくっていくのです。

手にしたペットボトルをリサイクルすること。
オフィスや家でつかうエネルギーを見直してみること。
目にする自然のありがたさを感じること。

東京にくらす一人ひとりが、
東京で活動する一つ一つの組織が
それぞれが今、できることから。

東京都環境公社は、その最初の一歩目を、
歩みを進める二歩目をともに歩んでいきます。

事業所のご案内

公益財団法人東京都環境公社
（本社）

東京都墨田区江東橋4-26-5
東京トラフィック錦糸町ビル8階

ACCESS
・JR総武線　錦糸町駅　徒歩1分
・東京メトロ　半蔵門線　錦糸町駅　徒歩1分
・都バス　錦糸町駅（南口）　徒歩1分

東京都地球温暖化防止活動推進センター
（クール・ネット東京）

東京都新宿区西新宿2-4-1
新宿NSビル17階

ACCESS
・JR新宿駅　西口　徒歩7分
・都営地下鉄新宿線　京王線　新宿駅　徒歩6分
・都営地下鉄大江戸線　都庁前駅　徒歩3分

東京都環境科学研究所

東京都江東区新砂1-7-5

ACCESS
・東京メトロ　東西線　東陽町駅3番出口
徒歩10分

中防管理事務所
（環境局中防合同庁舎内）

東京都江東区海の森2-4-76

ACCESS
・東京臨海高速鉄道　東京テレポート駅
またはゆりかもめ
テレコムセンター駅より都バス　中央防波堤行き
環境局中防合同庁舎前下車

公社の各事業はホームページ・SNS・メールマガジンで発信しています。

環境公社公式X
@kankyokosha1962

水素情報館
東京スイソミル X
@suisomiru

TOKYO-ecosteps X
@TOKYO_ecosteps

東京サーキュラー
エコノミー推進センター X
@CE_Tokyo

クール・ネット東京
ホームページ

クール・ネット東京 X
@coolnet_tokyo

環境に関する各種メールマガジン
脱炭素支援の取組や里山活動体験のご案内、産業廃棄物
関連情報等を発信

東京のくらしから、地球の明日をつくっていく
公益財団法人　東京都環境公社

☎03(3644)2189
HP https://www.tokyokankyo.jp

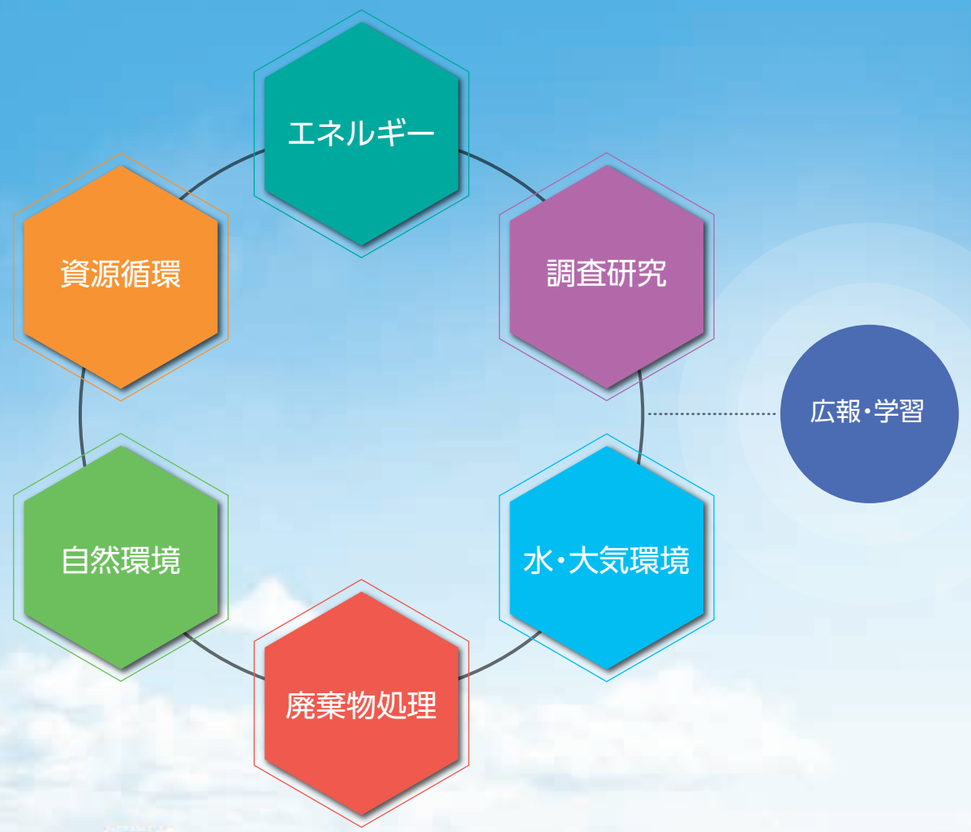
2026年5月発行

東京のくらしから、
地球の明日をつくっていく

事業案内

東京のくらしから、地球の明日をつくっていく
公益財団法人　東京都環境公社

6つの分野の事業を展開し、
私たちが目指す社会像を実現する



長年培った現場力と専門性を最大限に活かし、
みなさまとともに持続可能な社会の実現を目指してまいります。

当公社は、昭和37年の設立以来、当初は廃棄物分野の事業を展開し、近年は、地球温暖化対策、自然環境の保護、調査研究などにも事業を広げ、多様化する環境課題の解決に向け、行政と一丸となって取り組んでまいりました。

昨今、気候危機は深刻さを増し、「地球沸騰化」とよばれるような時代へ突入しています。生物多様性の喪失や水・大気環境の変化の進行など、多様化・複雑化する環境問題は、持続可能で豊かな未来を築き上げるうえで解決していくべき喫緊の課題です。

こうした中、東京都は「ゼロエミッション東京戦略　Beyond カーボンハーフ」を掲げ、2030年カーボンハーフとその先を見据え、2035年温室効果ガス排出量削減の新たな目標の達成に向け、実効性のある施策を推進し、あらゆる環境分野における取組を加速しています。

東京都の政策連携団体であり、環境施策の一翼を担う当公社は、こうした都が示す環境施策の目標等の達成に貢献できるよう、環境分野のフロントランナーとして、これまで培った知見・専門性を活かし、都民・事業者の環境配慮への行動変容を促すなど、深刻化する環境課題の解決に積極果敢に取り組んでまいります。

また、人材、財務、DXの視点から経営基盤を充実させ、公正で健全な組織運営を図るなどガバナンスの強化に努めていくとともに、職員一人ひとりの創意工夫・実践力をベースとした取組を通じて、社会の持続的な成長に寄与できるような法人経営を目指してまいります。

みなさまからの一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

公益財団法人 東京都環境公社 理事長
小川 謙司

東京都環境公社　2030ビジョン

持続可能な社会の実現に向けて、当公社が目指す社会像と自らがありたい姿、そしてその実現に向けた、環境分野のフロントランナーとしての事業活動と取組の方向性を示すビジョンを策定しました。

2030ビジョン
https://www.tokyokankyo.jp/vision/

東京都環境公社について

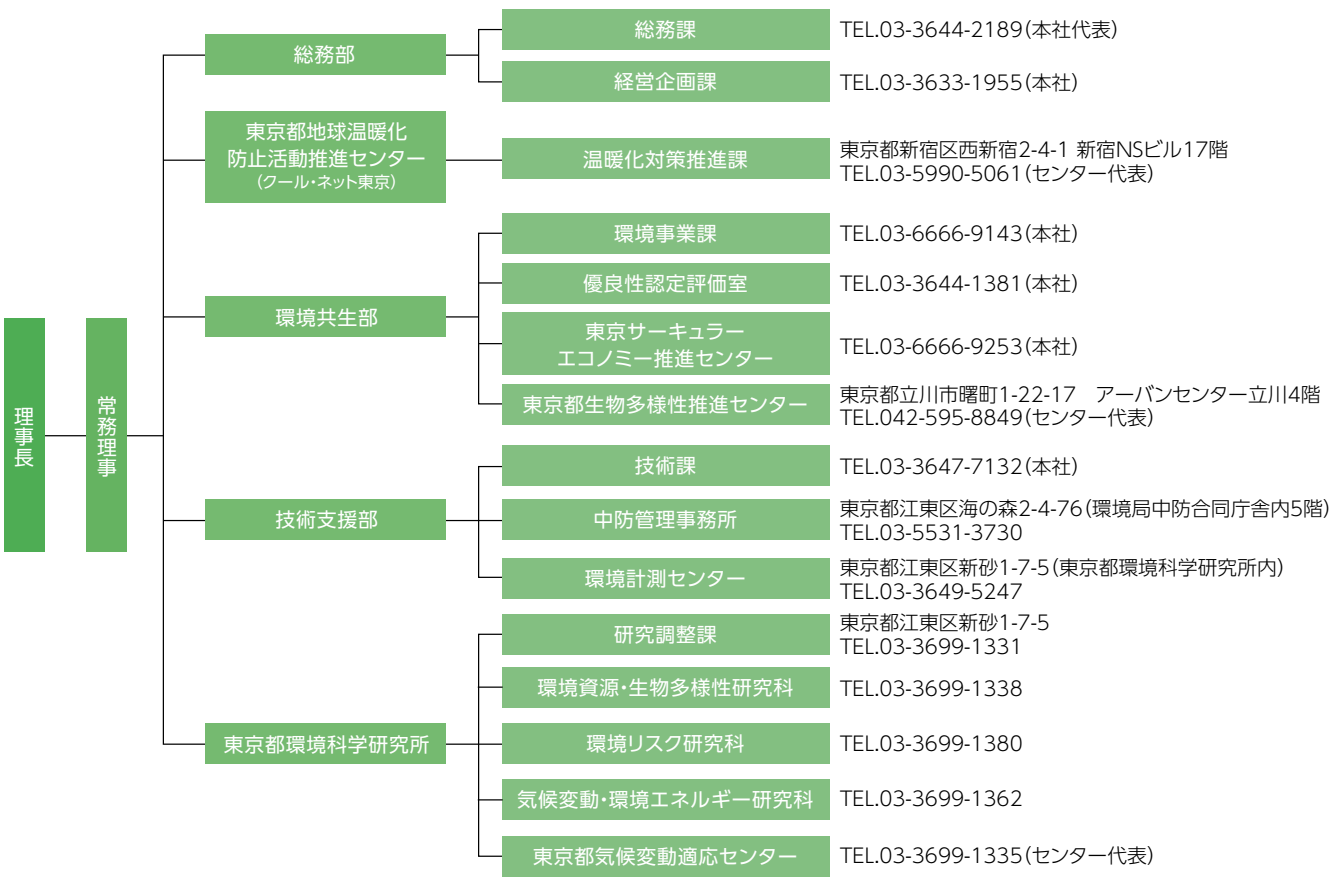
概要

名称	公益財団法人 東京都環境公社
所在地	東京都墨田区江東橋四丁目26番5号
設立年月日	昭和37年5月14日
評議員会 評議員	8名
代表者 理事長	小川 謙司
役員	理事7名　監事2名
職員数	493名（令和8年4月現在）
基本財産	3億5千6百万円
事業規模	261億5千万

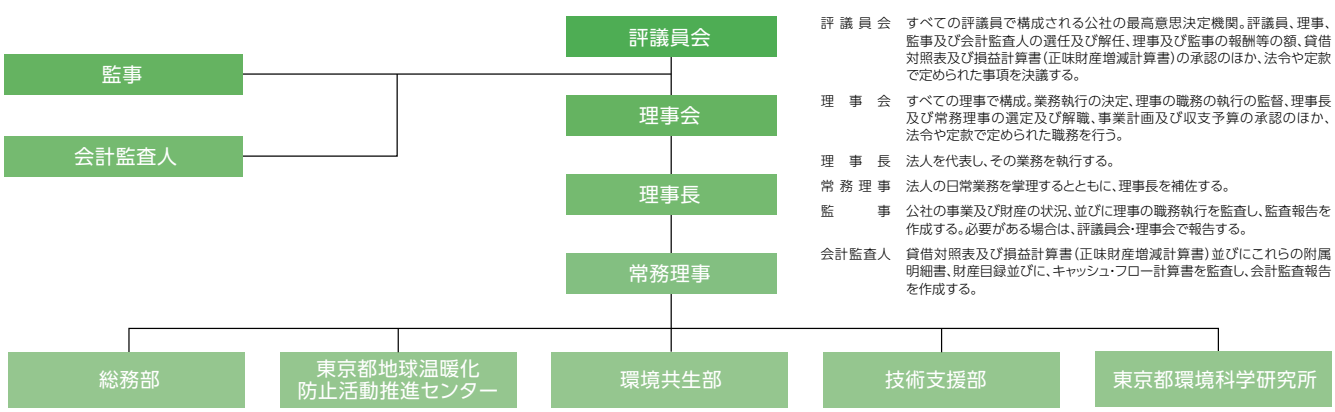
業の許可等

- 一般廃棄物収集運搬業　第7号
- 東京都地球温暖化防止活動推進センター　東京都知事指定
- 優良性基準適合認定制度第三者評価機関　東京都知事指定
- 浄化槽法指定検査機関　東京都知事指定

組織図

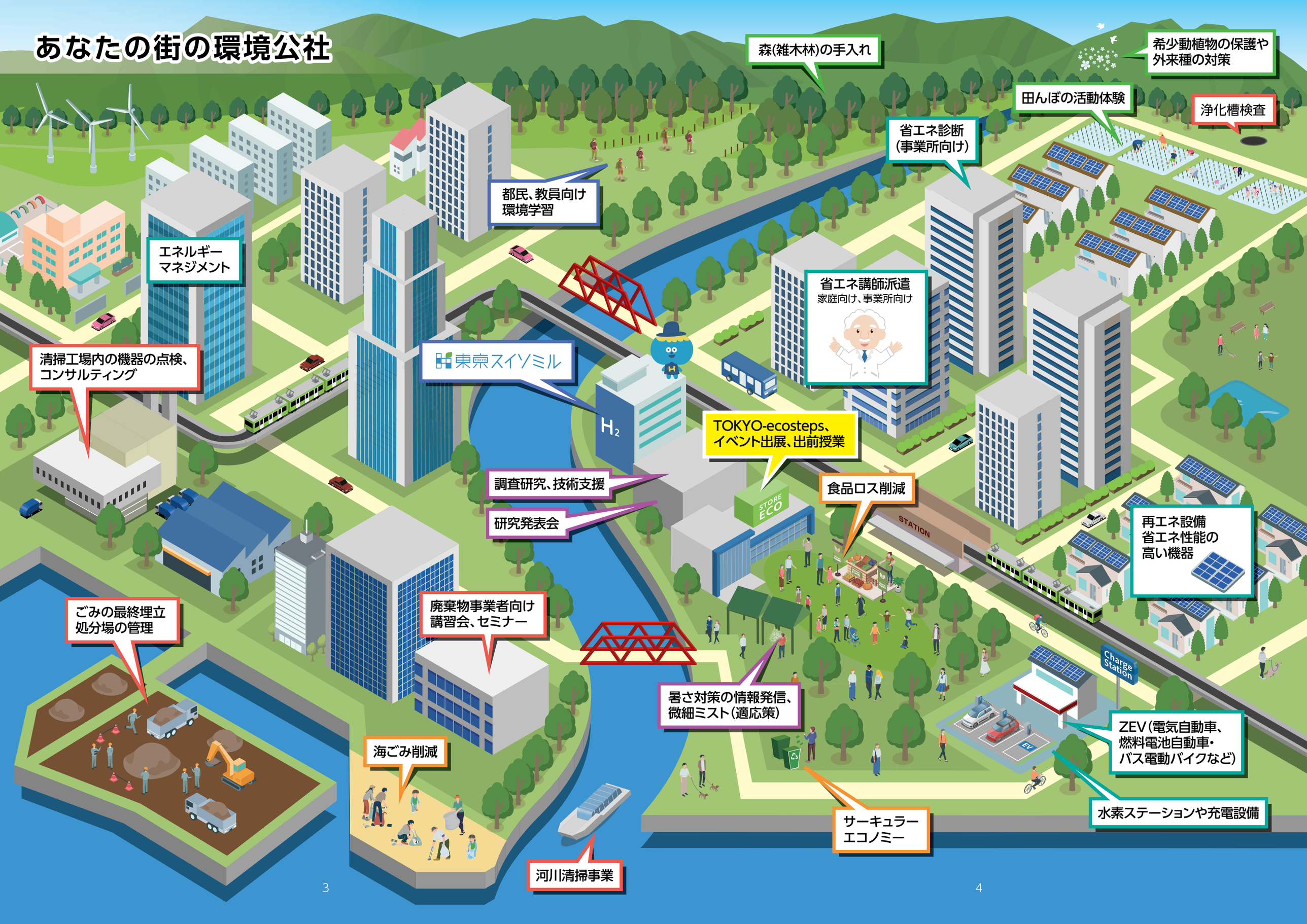


ガバナンス体制



評議員会	すべての評議員で構成される公社の最高意思決定機関。評議員、理事、監事及び会計監査人の選任及び解任、理事及び監事の報酬等の額、貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認のほか、法令や定款で定められた事項を決議する。
理事会	すべての理事で構成。業務執行の決定、理事の職務の執行の監督、理事長及び常務理事の選定及び解職、事業計画及び収支予算の承認のほか、法令や定款で定められた職務を行う。
理事長	法人を代表し、その業務を執行する。
常務理事	法人の日常業務を掌理するとともに、理事長を補佐する。
監事	公社の事業及び財産の状況、並びに理事の職務執行を監査し、監査報告を作成する。必要がある場合は、評議員会・理事会で報告する。
会計監査人	貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）並びにこれらの附属明細書、財産目録並びに、キャッシュ・フロー計算書を監査し、会計監査報告を作成する。

あなたの街の環境公社


森(雑木林)の手入れ
希少動植物の保護や外来種の対策
田んぼの活動体験
浄化槽検査
省エネ診断(事業所向け)
都民、教員向け環境学習
エネルギーマネジメント
省エネ講師派遣
家庭向け、事業所向け
清掃工場内の機器の点検、コンサルティング
東京スイソミル
TOKYO-ecosteps、イベント出展、出前授業
調査研究、技術支援
研究発表会
食品ロス削減
STORE ECO
STATION
再エネ設備
省エネ性能の高い機器
ごみの最終埋立処分場の管理
廃棄物事業者向け講習会、セミナー
暑さ対策の情報発信、微細ミスト(適応策)
Charge Station
ZEV(電気自動車、燃料電池自動車・バス電動バイクなど)
海ごみ削減
サーキュラーエコノミー
水素ステーションや充電設備
河川清掃事業

東京都環境公社の歴史

1962
(財)東京都環境整備事業協会設立
事業系廃棄物収集運搬事業開始(～2014年)

出典:東京都清掃事業百年史

1970
処分場の適正管理事業開始
(15号埋立地～1985年)

1973
(財)東京都環境整備公社に社名変更

1974
江東区潮見に新社屋落成

1978
・産業廃棄物等受入業務開始
・分析測定業務開始
(～2015年)

1980
浄化槽法定検査事業開始
(～1999年)

1984
コンポストセンター運転管理業務開始
(～1993年)

1985
道路清掃事業開始
(～1997年)

1986
・河川清掃事業開始
・中防不燃ごみ処理センター運転管理業務開始

1990
清掃工場等の計器保全事業開始

1992
破砕ごみ処理施設運転管理業務開始
(～1998年)

1995
・阪神大震災廃棄物処理に職員派遣
・ごみ管路収集輸送施設運転管理業務開始

1996
・粗大ごみ申告受付業務開始
・神田情報センター開設
・京浜島不燃ごみ処理センター運転管理業務開始

1997
・廃棄物技術支援事業開始
・城南島エコプラント事業開始
(～2012年)

2001
家電リサイクル受付業務開始
(～2022年)

2002
・廃蛍光管リサイクル事業開始(～2019年)
・医療廃棄物適正処理モデル事業開始
・産業廃棄物適正処理講習会事業開始

2007
東京都環境科学研究所が東京都より移管

2008
東京都地球温暖化防止活動推進センター開設

クール・ネット東京

2009
・中央防波堤外側埋立処分場関連事業の包括受託開始
・優良性基準適合認定制度事業開始
東京都知事より優良性基準適合認定制度第三者評価機関の指定を受ける

2010
本社を墨田区江東橋四丁目26番5号に移転
施設搬入不適物調査事業開始

2011
・東日本大震災で発生した災害廃棄物受入処理等支援事業開始(～2014年)
・PCB廃棄物処理支援事業開始
・国際協力事業開始

2012
公益財団法人東京都環境公社に社名変更
(公益財団法人へ移行)

2013
大島町の災害廃棄物の受入処理支援事業開始(～2014年)

2015
・自然環境の保全等事業開始
・浄化槽法定検査事業開始

2016
水素情報館「東京スイソミル」開設

2019
暑さ対策緊急対応センター開設

2020
プラスチック対策事業開始

2022
東京都気候変動適応センター開設

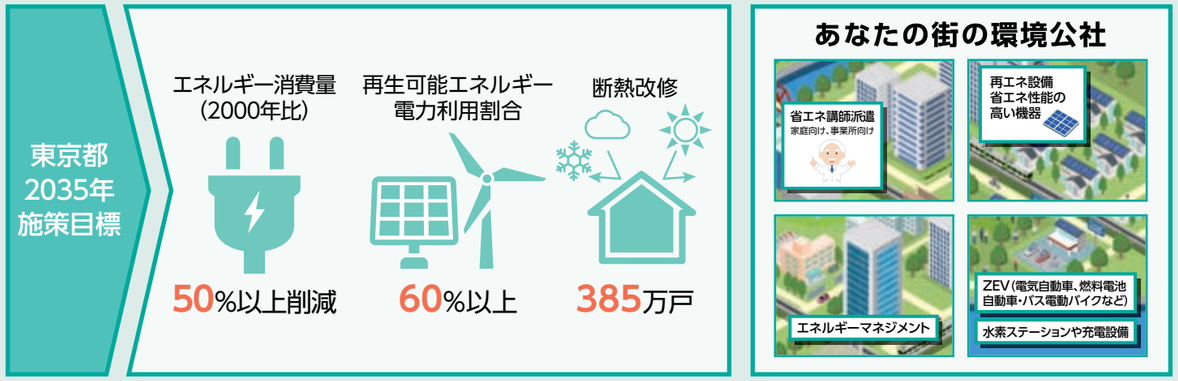
2022
東京サーキュラーエコノミー推進センター開設

2024
東京都生物多様性推進センター開設

エネルギーの脱炭素化

エネルギーの脱炭素化に向けて

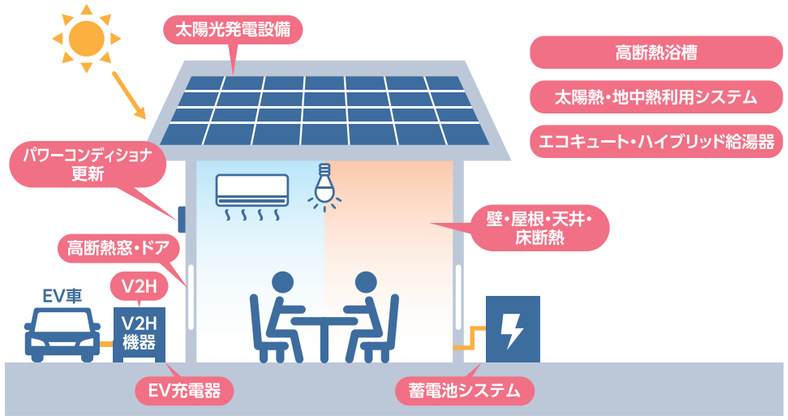
気候危機への対応だけでなく、中長期的なエネルギーの安定確保の観点から、エネルギーの脱炭素化は重要性を増しています。公社は、2050年CO_2排出実質ゼロに向けて、「東京都地球温暖化防止活動推進センター（愛称:クール・ネット東京）」を拠点として、都民・事業者等の地球温暖化防止の取組を支援しています。



都民のゼロカーボンアクションの推進

家庭でのエネルギー対策を後押しする支援策

断熱性・省エネ性能に優れた住宅の新築や既存住宅の断熱改修、V2H、太陽光発電設備、蓄電池等の導入に関する助成を行っています。その他、都民の脱炭素化への行動変容を後押しする各種広報を展開しています。



TOPICS

セミナー等の様々な普及啓発を行っています!

電力を「H（へらす）T（つくる）T（ためる）」をキーワードに、WEBやSNS、動画、セミナー等を通じた多角的な情報発信を行っています。身近な省エネのコツを学べるセミナー、断熱性能の高い建物のメリット等の専門的知見を分かりやすく伝える動画、民間と連携したZEVの普及促進プロジェクトなど、様々な施策により都民の行動変容を後押ししています。

事業者の脱炭素化の促進

事業所でのエネルギー対策を後押しする支援策

技術専門員による省エネ診断や省エネ設備導入への助成など、中小規模事業所等のゼロエミッションビル化に向けた取組を行っています。また、CO_2排出量の可視化やグリーン製品市場創出、エネルギーマネジメントの推進等、事業者の脱炭素化に向けた環境整備を支援しています。

ゼロエミッションモビリティの推進

車両のZEV化の推進

自動車から排出される二酸化炭素の削減を図るため、燃料電池自動車（FCV）、電気自動車（EV）等を導入する方に対する助成事業を行っています。また、レンタカーやカーシェアリングへのZEV導入等も実施しています。

ZEVの普及に不可欠な社会インフラの整備

ZEVの普及に向けて、カギとなる水素ステーションや急速充電器等の拡大に向け、インフラ整備費用・運営費の助成を行っています。

※ZEV… 走行時※にCO_2等の排出ガスを出さない電気自動車（EV）や
プラグインハイブリッド自動車（PHEV）、燃料電池自動車（FCV）を
ゼロエミッションビークル（ZEV:ZeroEmission Vehicle）と呼びます。
※PHEVはEVモードによる走行時

持続可能な資源利用による カーボンハーフへの貢献

持続可能な資源利用の推進に向けて

2050年には、世界の人口が95億人に、資源利用量が現在の約1.8倍の1,700億トンに達すると見込まれ、気候変動にも深刻な影響を及ぼすとみられています。東京は、多量の資源供給を域外に依存し、大量消費をしており、これまでの省資源化の取組に加え、再生可能資源の持続可能な利用に先導的に取り組む責任があります。持続可能な資源利用の定着に向けて、CO_2排出実質ゼロのプラスチック利用や食品ロス対策など、社会インフラを支える事業の体制強化を図っていきます。

東京都 2035年 施策目標

一般廃棄物のリサイクル率	食品ロス発生量（2000年度比）	廃プラスチック焼却量（2017年度比）
40%程度（目安水準）	65%削減	50%削減

あなたの街の環境公社

サーキュラーエコノミーの実現に向けた情報発信・事業者等への支援

東京サーキュラーエコノミー推進センター（愛称:T-CEC）

公社は、東京サーキュラーエコノミー推進センターを拠点とし、持続可能な資源利用に関する情報発信や都民・事業者等の具体的な取組を支援することで、サーキュラーエコノミーの実現に貢献しています。

東京サーキュラーエコノミー推進センターHP

サーキュラーエコノミーを身近に感じてもらえる取組を、Webサイトを通じてわかりやすく発信しています。

https://www.circulareconomy.metro.tokyo.lg.jp/

サーキュラーエコノミーの推進に係る情報発信・相談マッチング事業

サーキュラーエコノミーの実現に向けて、都民・事業者等から資源の循環利用に関する相談をワンストップで受け付けるとともに、主体的に実践行動に取り組むための具体的な方策等の情報発信を行っています。

サーキュラーエコノミーの実現に向けた補助事業

プラスチックや食品ロスの削減などに係る事業者等の取組について様々な補助事業を実施しています。

3Rアドバイザー事業

オフィスビル等から排出される廃プラスチックなどの事業系廃棄物について3Rを促進するため、区市町村等と連携し、3Rアドバイザーによる助言を実施しています。また、オンライン相談の実施や「TOKYO 3R診断ナビ」の運用など、ICTを活用したアドバイスにより事業者の行動変容を支援しています。

TOPICS

TOKYO3R診断ナビ

事業所における廃棄物の3R取組状況を簡単に診断できる無料のオンラインツールを公開しています。PCやスマートフォンから、いつでも事業所の3Rの取組状況を診断し、結果を把握することができます。

https://tokyo-3r.metro.tokyo.lg.jp/

外食ロス削減推進事業

都内外食店の食品ロス削減に向け、消費者に食べきり等を促すキャンペーンを一斉に実施するとともに、食べきり等の促進策やメニュー表示の工夫等を盛り込んだテキストなどを作成し、講習会等で広く普及を図ります。

講習会の実施風景

イベントステッカー

TOKYO海ごみゼロアクション

東京の海に新たなプラスチックごみを流出させないよう、東京の海ごみ問題を都民に広く啓発するとともに、海ごみや河川ごみの清掃活動への参加につなげる「TOKYO海ごみゼロアクション」を実施しています。

TOKYO海ごみゼロアクションHP

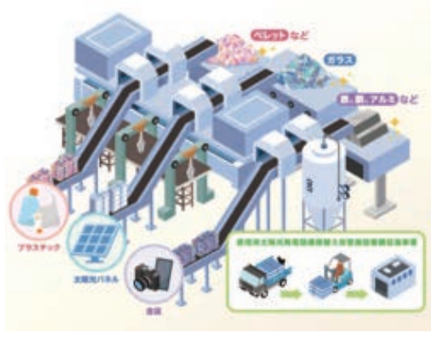
海ごみの発生原因、影響についてイラストでわかりやすく紹介しています。また、海ごみ問題に取り組む事業者・団体へのインタビュー記事も掲載しています。

https://www.tokyokankyo.jp/umigomi-zeroaction/

太陽光発電設備の資源循環と適正処理に関する事業

高度化設備導入促進による循環経済の推進

東京都内の事業者等に対して、高度再資源化や再資源化の効率向上に資する廃棄物（廃プラスチック類、太陽光パネル、金属）の破砕・選別又はリサイクル設備等の導入や使用済太陽光パネル等の積替え保管施設の整備及び設置に要する費用の一部を補助しています。



生物多様性の保全と自然との共生の実現への貢献

豊かな自然、生物多様性の保全に向けて

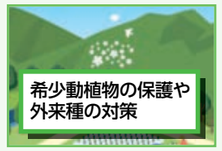
東京都生物多様性推進センターを拠点として、都内の自然豊かな保全地域において、自然環境保全活動を体験するプログラムを実施するとともに、適切な緑地の維持管理及び貴重な動植物の保全等の事業を実施しています。また、小学生向けの多様な自然を知る参加型プログラムや、ボランティア人材の育成講座を通じ、生物多様性の保全と自然との共生の実現に貢献しています。

東京都の保全地域

指定数 **53**地域

指定面積 約**776**ha

あなたの街の環境公社



自然環境の保全等事業

保全地域体験プログラム「里山へGO!」

保全地域体験プログラム　稲作体験

稲作体験や下草刈りなど参加しやすい保全地域体験プログラムを提供し、都民のみなさまを対象としたボランティア人材の育成を推進しています。

生物多様性に配慮した管理計画の策定及び実施

清瀬中里緑地保全地域

生物多様性保全に係る専門家からの助言、指導を得ながら、自然環境調査等を踏まえ、保全地域活動団体や自治体等の多様な主体と連携しています。また、それぞれの保全地域の生物多様性や保全の作業計画を策定し、実施しています。

希少動植物の保護や外来種の対策

キツネノカミソリ

保全地域における希少動植物の生育状況や盗掘等被害状況の確認及び保護や生育環境を保全するための植生管理を実施しています。また、保全地域本来の生態系に影響を及ぼす外来種調査や除去を実施しています。

保全地域の維持管理

横沢入里山保全地域

保全地域における生物多様性の保全と安全性の向上のため、定期巡視、支障木・危険木等の伐採及び剪定、雑木林の萌芽更新や下草刈り、保護柵や看板等の補修工事、林縁部の保全、ナラ枯れ被害木の対応等を実施しています。

保全地域等の普及啓発業務

ボランティア活動希望者のニーズとレベルに応じた活動情報を提供し、活動場所及び保全地域活動団体とのマッチングを図っています。また、自治体等が主催する都民等を対象としたイベントに出展し保全地域の魅力を発信しています。

東京グリーンシップ・アクション
東京グリーン・キャンパス・プログラム

幅広い層の都民に自然環境への関心を高めてもらうため、企業、NPOなどの多様な主体と連携した東京グリーンシップ・アクションや、小学校、高等学校、大学と連携した東京グリーン・キャンパス・プログラムを実施しています。

保全地域の指定効果の見える化

緑地等が提供する効果の見える化（身近な指標を定量化）業務を実施しています。

生物多様性保全連携推進事業

多様な自然を知る参加型プログラムの実施

山地や島しょなど東京の特徴のある自然をフィールドとし、そこで活動する関係団体等と連携した小学生向けの参加型プログラム「Tokyo Nature Class」を企画実施しています。

ボランティア人材の育成講座の実施

自然環境保全分野のボランティア人材を育成する講座を実施しています。
・東京都サポートレンジャー登録講座等
・緑のボランティア指導者育成講座

TOPICS

東京都生物多様性推進センター

都内で生物多様性の保全活動に取り組む皆さまを繋ぎ、必要な情報提供やアドバイスを行う拠点として、令和6年4月にスタートしました。都内の豊かな生物多様性を守り、回復させ、未来へ繋げていくために活動しています。
さらに、生物多様性に関する普及啓発を行うとともに、体験プログラム等を通じて保全活動の機会を広げ、緑地の適切な管理や貴重な動植物の保全を進める等、自然と共生する社会の実現に貢献します。

https://tokyo-biodiversity.metro.tokyo.lg.jp/

廃棄物適正処理の一層の促進

循環型社会の実現に向けて

廃棄物の適正処理を確実に行い、環境保全と社会基盤の維持に向けた取組を進めています。限りある処分場の有効活用を目指し、ごみの減量やリサイクルの更なる推進に注力するほか、自治体や廃棄物処理施設への技術支援を通じて、施設の安全かつ効率的な運用を支援します。また、産業廃棄物処理業者向けの講習会を通じ、法令遵守や適正処理の基礎知識の普及を図り、環境負荷の低減に取り組んでいます。これらの活動を通じて、廃棄物処理の先駆的なモデルを構築し、安全で持続可能な都市運営に貢献します。

東京都 2035年 施策目標

廃プラスチック焼却量（2017年度比）	一般廃棄物のリサイクル率
50%削減	40%程度（目安水準）

あなたの街の環境公社

廃棄物処理と都市環境の保全

東京都廃棄物埋立処分場は東京港内で最後の埋立処分場です。限りある処分場の延命化に向け適正かつ安全に埋立作業を行うとともに、処分場の環境対策にも努めています。

東京都環境局提供

中央防波堤内側諸事業

中央防波堤内側埋立地において東京二十三区清掃一部事務組合が運営する中間処理施設等で、廃棄物の受入、粗大ごみ等破砕ごみの積込運搬及び槽、管渠清掃等の環境保全作業等を受託し、実施しています。

中央防波堤外側諸事業

東京都が管理運営する中央防波堤外側埋立処分場等で、廃棄物の受入指導、覆土などの埋立処分作業及び飛散ごみ防止等の環境保全作業等を受託し、実施しています。

河川環境保全事業

東京都が管理する隅田川や神田川等都内29河川において、河川環境の保全を図るため、船舶を用いた浮遊ごみ等回収処理作業を受託し、年間300日以上実施しています。

TOPICS

埋立処分場見学案内

埋立処分場の延命化やごみの減量に向け、中央防波堤外側埋立処分場及び廃棄物処理施設の都民及び小学生等への見学案内業務を実施しています。

廃棄物適正処理の推進

産業廃棄物に関する講習会の開催

産業廃棄物の適正処理や法令順守等に関する講習会を、排出事業者・処理業者を対象に開催しています。

医療廃棄物適正処理推進事業

医療機関等の廃棄物処理において、電子マニフェストと優良な産業廃棄物処理業者を組み合わせた追跡管理システムを提供することで、医療廃棄物の適正処理の取組を推進しています。

優良性基準適合認定事業【産廃エキスパート・産廃プロフェッショナル】

東京都知事から第三者評価機関の指定を受け、産業廃棄物処理業者を適正かつ公正に審査・評価し、優良な事業者として認定しています。

廃棄物処理施設の維持管理と技術支援

清掃工場計器保全*

23区等の各清掃工場に設置されている排ガス分析等の計器保守点検を昼夜問わず年間300日以上実施しています。

*東京二十三区清掃一部事務組合等より受託

浄化槽法定検査事業

東京都知事から法定検査機関の指定を受け、都内各地で浄化槽の検査を行っています。検査当日の手数料の支払いには、現金のほか、クレジットカード、電子マネー、QRコード決済もご利用いただけます。

廃棄物処理施設に関する技術支援

島しょ部や多摩地域等の各自治体の要望に応じて、廃棄物処理施設の建設や維持管理に関するコンサルティングを実施しています。

大気環境等の更なる向上

快適な大気環境の実現に向けて

東京都の大気環境は昔に比べ大幅に改善されましたが、健康や環境に影響を与えるPM2.5や光化学スモッグなど、依然として解決すべき課題が残されています。大気環境を改善していくためには、大気汚染の原因となる物質を減らすことが必要です。
公社では東京都と連携し、事業者による大気環境改善に向けた自主的な取組を支援するとともに、都民へ大気環境に配慮した行動を推奨する広報活動を展開するなど、快適な大気環境の実現に向けて、様々な取組を実施しています。

東京都 2035年 施策目標

光化学オキシダント濃度

全ての測定局で0.07ppm以下

都環境施策の実効性を高める総合的な調査・研究の推進

環境課題の解決に向けた調査研究の推進

自然、資源循環、大気、水、エネルギーなど、環境課題は複数の分野が複雑に関わり合って生じています。研究所では、都の環境施策等の展開に資する分野横断的・総合的調査研究の実施や、課題ごとに他の研究機関との連携を進めるなど、幅広い取組により環境課題の解決に貢献していきます。

あなたの街の環境公社

東京都環境科学研究所の三つの役割

- **環境施策の展開を支える**：東京都の環境施策の展開に必要な科学的知見を提供します。
- **産学公との連携**：研究等の実施にあたっては、大学や他の研究機関、民間等との連携を進めます。
- **幅広い環境研究**：国や民間等からの外部資金を活用し、環境の改善・向上に資する幅広い研究等を行います。

Clear Sky実現に向けた大気環境改善促進事業

都民を対象としたイベントやフォトコンテスト等の広報活動を通して、事業内容の周知や大気環境改善に向けて身近でできる対策について紹介しています。
また、都民参加型のClear Skyサポーターアワードを開催し、自主的に対策に取り組む事業者を応援しています。

省エネ型VOC排出削減設備導入促進事業

脱炭素の取組を強化するとともに、大気環境の更なる改善のため、光化学スモッグの原因のひとつであり石油系原材料の削減等に寄与できるVOC（揮発性有機化合物）対策設備やVOC削減装置付省エネ型空調・換気設備の導入に要する費用の一部を補助します。

東京都気候変動適応センター

東京都気候変動適応センターは、都内における気候変動影響及び気候変動適応に関する情報の収集、整理、分析及び情報発信並びに技術的助言を行う拠点です。気候変動適応法第13条に基づく地域気候変動適応センターとして2022年1月、都市のヒートアイランド対策の研究などを行ってきた東京都環境科学研究所に設置されました。東京都の関連部局とはもちろん、区市町村とも緊密に連携しながら、気候変動適応の推進に取り組んでいます。

LCCAC TOKYO
LCCAC:
Local Climate Change Adaptation Center

調査研究

東京都からの受託研究、他の研究機関等との共同研究、外部資金を活用した研究等、東京都の環境行政に資する調査研究を実施しています。

高濃度光化学オキシダントの低減対策に関する研究

光化学オキシダントの原因物質と考えられる揮発性有機化合物（VOC）等の実態調査や発生源推定に関する研究を行っています。

揮発性有機化合物（VOC）等の分析システム

微小粒子状物質の濃度低減等に関する研究

PM2.5の高濃度化をもたらす要因を調査し、濃度低減に有効な対策についての研究を行っています。ナノ粒子については、都内大気中環境濃度の実態の把握を行い、高濃度要因についての調査を行っています。

生ごみなどバイオマス系資源の焼却に頼らない循環利用に関する研究

都市部のバイオマス系資源の循環について調査を行い、都施策に寄与する情報提供を行うとともに、マテリアルフローの作成と環境負荷把握に必要となる分析などの調査研究を行います。

脱炭素化に向けた中小規模事業所対策の調査研究

都内の準大規模（1万㎡以上）の中小規模事業所を対象に、CO_2排出量や温暖化対策の実態を調査し、CO_2排出削減効果を推計するとともに、今後の対策について整理・検討しています。

有害化学物質によるリスク評価及びその危機管理に関する研究

都内において環境に影響を及ぼす可能性のある化学物質を選定し、排出源や環境リスクの解明及びその削減に関する調査研究を行っています。また、化学物質漏洩時に早期発見する分析法の開発や化学物質リスクを可視化する取組を行っています。

水環境の保全に関する研究

都内水域の環境改善に資するため、沿岸域の水生生物の生育・生息実態把握、環境修復技術の効果検証や衛生指標細菌の分布と発生源推定などの研究を行っています。そのほかに、都内の地下水の実態把握に関する研究を行っています。

保護上重要な野生生物種の保護策強化に向けた調査研究

都内における魚類や両生類等の保護上重要な野生動植物種の生息状況を環境DNA調査等によって把握し、外来種との置き換わりや生息環境の変化等の実態について調査研究を行っています。

その他の研究はこちら

研究員の自発的な提案に基づく自主研究や、科研費・環境研究総合推進費といった外部資金研究にも取り組んでいます。

研究テーマ一覧

https://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/research

技術支援

都及び区市町村担当者を対象とした技術研修、分析精度管理、フロン類の大気中濃度把握などの技術支援を行い、環境施策の推進に必要な科学的知見・専門的技術等を提供することで、環境施策の実施における信頼性の確保や環境の改善・向上に貢献しています。

広報活動・情報発信

施設公開「Let's サイエンス」（年1回）

研究員による科学実験教室、参加型ワークショップ、研究所見学ツアーを実施。小学生から大人まで参加できます。

視察・見学受入（随時）

都内教育機関及び都民の方、行政・海外研修生等の視察を随時受け入れています。予約はHPから。

公開研究発表会（年1回）

毎年12月～2月頃に研究成果を発表。最新の研究トピックを都民・関係機関に広くご紹介しています。

年報・学会発表・研究所ニュース等

年報、学会発表、研究所ニュース等で研究成果を継続的に発信。詳細はHPをご覧ください。

広報・学習

もっと知りたい!環境のこと

私たちが住む地球には様々な環境問題が存在します。公社では、エネルギー、資源循環、自然環境、調査研究の事業から得られた知見とフィールドを利用し、都民のみなさまに環境問題への意識を高める機会を数多くご用意しています。

ホームページの紹介

環境に関する知識を深め、実践的な体験を通じて持続可能な未来に向けた行動を促進するための各種プログラムをご紹介しています。

知る・体験する

https://www.tokyokankyo.jp/learn/

あなたの街の環境公社

TOKYO-ecosteps

環境に配慮した体験や学びを通して誰もが楽しみながらエコアクションを続けていけるメンバーシッププログラム「TOKYO-ecosteps」。

TOKYO-ecostepsHP

メンバーに登録すると、エコアクションをするたびに、ステップポイントが貯まり、ポイントに応じて素敵なプレゼントに応募できる特典もあります。

https://www.tokyo-ecosteps.jp/

TOKYO-ecosteps LINE

東京エコマナブ

東京都環境公社のキッズサイト「東京エコマナブ」がリニューアルオープンしました。

東京エコマナブHP

地球の未来のため、エネルギーや資源循環のこと、自然環境のことを知って今日からできることを学習できます。

https://www.tokyokankyo.jp/study/

水素エネルギー出前授業

持続可能な低炭素都市の実現に向けて、社会での実装が期待される「水素エネルギー」を学ぶ小学校向けの出前授業を実施しています。

都民を対象としたテーマ別環境学習講座

都民を対象に、エネルギー・生物多様性・資源循環など、様々な分野について、楽しく学び、考える多彩なプログラムをご用意しています。

小学校教員向け環境教育研修会

学校の夏休み期間等を利用して、小学校の先生等を対象に、教科学習に沿った環境学習プログラムを紹介し、体験していただく研修会を実施しています。

水素情報館
東京スイソミル
Tokyo Hydrogen Museum

スイソミル

https://www.tokyo-suisomiru.jp/

▶ 館内見学 ◀

東京スイソミルでは、予約制の館内アテンドツアーを受け付けています。社会科見学や事業者の方、海外メディアの視察など、子供から大人の方まで幅広くご利用いただいております。60分程度で、年代に合わせてご案内いたします。

▶ イベント紹介 ◀

年間を通じて水素について楽しく学べるイベントを開催しています。企業コラボ企画や実験教室など多彩なプログラムをご用意し、小学生だけでなく、大人の方にも楽しんでいただける内容となっています。詳細は公式ホームページで随時お知らせしています。

▶ 展示品 ◀

水素エネルギーの可能性を身近に感じていただける場を目指し、クイズや体験コーナーで楽しく水素のことを学べるほか、グリーン水素製造装置をはじめ、実社会での水素エネルギー活用に関連する技術や取り組みを紹介しています。

住所	東京都江東区潮見1-3-2
開館時間	9:00~17:00 (最終入館16:30)
休館日	月曜日、年末年始(12月28日~1月4日) ※月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館
電話	03-6666-6761
アクセス	・JR京葉線 潮見駅 徒歩8分 ・東京メトロ 有楽町線 辰巳駅 徒歩20分 ・都営バス 錦13乙(錦糸町⇔深川車庫) 潮見一丁目下車徒歩1分